

# 比例と反比例

## 答え

- 1 (1)  $y = 60 \div x$  (2) 6cm
- 2 (1)  $y = 0.6 \times x$   
(2) ㉞ 60 ㉟ 240 ㊱ 700
- 3 (1) ㉞  $y = \frac{3}{2} \times x$  ㉟  $y = \frac{3}{4} \times x$   
(2) ㉞のほうが45gだけ重い。
- 4 (1) 8回転 (2) 14回転

## 考え方

- 1 (1) 表より、 $x \times y$ の値がいつもきまった数になるので、 $y$ は $x$ に反比例します。
- 2 (1) この紙1枚の重さは $6 \div 10 = 0.6$ (g)  
紙 $x$ 枚の重さ(g)  
= 紙1枚の重さ(g)  $\times$  紙の枚数 $x$ (枚)  
(2)  $y = 0.6 \times x$ に $x = 100$ 、 $x = 400$   
 $y = 420$ をそれぞれあてはめて $y$ の値と $x$ の値を求めます。

- 3 (1) ㉞のグラフより、 $x = 20$ のとき、  
 $y = 30$ となるので、きまった数は、  
 $y \div x = 30 \div 20 = \frac{3}{2}$   
㉟のグラフより、 $x = 40$ のとき、 $y = 30$   
となるので、きまった数は、  
 $y \div x = 30 \div 40 = \frac{3}{4}$
- (2) (1)のそれぞれの式に $x = 60$ をあてはめて $y$ の値を求め、重さのちがいを計算します。㉞は90g、㉟は45gです。
- 4 (1) 歯車Aが2回転したときの歯車Bの回転数を $b$ 回転とすると、動く歯の数は同じなので、  
 $80 \times 2 = 20 \times b$      $160 = 20 \times b$   
 $b = 160 \div 20$      $b = 8$
- (2) 歯車A、B、Cで、動く歯の数はどれも同じなので、歯車AとCで考えます。歯車Aが7回転したとき、歯車Cの回転数を $c$ 回転とすると、動く歯の数は同じなので、  
 $80 \times 7 = 40 \times c$      $560 = 40 \times c$   
 $c = 560 \div 40$      $c = 14$

# 2 漢字・言葉の学習

## 答え

- 1 (1) くわしく (2) だいたい
- 2 (1) すみずみまで (4) 非常に
- 3 (1) 信 (2) イウオアエ (3) 朝 (4) 菜
- 4 (1) 尊敬 (2) 磁石 (3) 牛乳
- (7) (4) 卵 (8) (5) 蚕 (6) 雑誌
- (5) (4) けらめ (2) (1) (5) なかでも (6) ゆっくりと

## 考え方

- 1 程度や様子を表す言葉をたくさん知っていると、読み取り問題でも役立ちます。
- 2 (3)の「朝」は「あさ(毎朝・朝日)」「ちよう(早朝・朝礼)」、(4)の「菜」は「な(菜種)」「さい(主菜・野菜・菜園)」と二通りの読み方があります。

1年間の総復習で 苦手をゼロに!

次の学年の さきどり

Z会 × ちびむすドリル

